

豊田市立元城小学校で防災講座を行いました

令和8年9月7日（月）、豊田市立元城小学校で6年生35名に防災講座を行いました。

講座では、豊田市でも被害のあった伊勢湾台風、昭和47年7月豪雨災害、東海（恵南）豪雨など過去の水害や線状降水帯、新たな防災気象情報などについて、学習しました。昭和47年7月豪雨の際にはこの学校も浸水しています。

また、伊勢湾台風A1語り部との対話体験では、「避難所に持って行った方が良い物は？」「何日ぐらい避難所にいましたか？」「まず、最初にとった行動は？」などの質問をしていました。

最後に児童からは「家族でハザードマップや非常食を確認したい」「台風・水害はあまり経験したことがなかったのので、豊田市でも被害があったことに驚いた」などの感想がありました。

この学校の東側には隣接して矢作川の堤防があり、想定される浸水深は15.5mであることから、この学校では4年生で朝日丘中学校へ避難する訓練を実施されてるそうです。

今回の講座が、児童たちの防災意識向上に繋がり、将来「守られる人から守る人」になって頂けることを期待しています。

